

## 後片付けは前準備

長野県

木下きのした豊ゆたか



小布施掃除に学ぶ会は、「毎日の掃除を暮らしの文化に」をテーマに、栗が丘小学校のトイレで、毎月掃除を楽しんでいます。

2004年、長野市の高校のPTA会長だった私は、トイレを改善したいと、中学校での掃除に学ぶ会に参加しました。リーダー竹中義夫さん(西三河掃除に学ぶ会)の、便器に向かう姿勢に深く感銘を受けました。「小布施町にも会をつくりたい、掃除文化を長野県に広めたい」と思いました。

2005年1月、町長の市村良三さんの賛同を得て、町行政の支援のもと、小布施掃除に学ぶ会が誕生しました。約150人分の掃除道具の保管は町の倉庫をお借りしています。誕生後に開いた「掃除に学ぶ感謝の会」には、鍵山相談役、田中会長をはじめ全国から参加いただきました。

こうしたご縁から、2007年、私が営む出版社「文屋」から

鍵山相談役と伊那食品工業株)の塚越寛さんとの対談集『幸福への原点回帰』を出版させていただきました。塚越さんの山荘での夜、お互いのお母さんの思い出話になったとき、お二人が目に見えかけていらした涙を思い出します。

「掃除を続けていると人生が末広がりになっていくよ。人生も経営も、日々年々、年輪のように、少しずつでいいからだんだんに良くなっていくこと。真に幸せな人生は、そんな着実な末広がりの毎日を感じる事ができるんだよ。」お二人からのメッセージを、生きる指針にしております。

月例会は17年間で209回を数えます。これからも佳きお仲間と共に続けてまいります。

(3810204長野県上高井郡小布施町飯田45)

# 人生最大の宝物

広島県

折笠<sup>おりがさ</sup>

廣司<sup>ひろし</sup>



1993年11月8日、第1回大正村掃除に学ぶ会に参加しました。35名の参加でした。

最初に鍵山秀三郎様より、「ト

イレは素手・素足で磨き、水こしはビールが飲めるくらいきれいに磨いてください」と説明がありました。私は水こし担当でした。

水こしは、尿石とヘドロでひどい状態です。「本当に綺麗になるのだろうか」と思いつつ、徐々に無心になり、尿石を落としながらなぜか涙が止まらなくなりました。「トイレを磨くことがなんと清々しいことか」、この感動をどう表現したらよいか分かりません。本当にビールを買ってきて、水こしに注ぎ、サラダコスモの中田智洋さんと乾杯しました。

当時私は29歳。5歳のころ身体を壊してからずっと体調が優れなかった私は、無農薬・無添加の農業や、「樁き家」という無添加の豆腐屋を営んでいました。

帰りのバスで、鍵山様の隣の座席となり、自身の今までの話をさせていただき、その後長い手紙まで書いてしまいました。

後日、鍵山様よりお返事をいただきました。「霜に打たれた柿の味辛苦に耐えた人の味浅野喜起」、「闘志は向上に必要だが、敵意は向上をもたらさぬばかりか平和を失わせるだけである(三浦光世)」このお手紙で、私は生まれ変わったのです。

あれから29年、私のような人間でも何とか事業が継続できたのは鍵山掃除道のお陰です。多くの仲間と、人生の恩師鍵山様とのご縁により、穏やかな心を手に入れることができました。これは私の人生最大の宝物です。

(29) 広島県三原市南方3-12-1

## 丁寧に生きる

東京都

山崎

敏哉



私が鍵山相談役に学んだことは、「丁寧に生きる」ということです。相談役は言葉と行動で、丁寧な生き方・日本人の美しい生き方を教えていただきました。

鍵山掃除道に出会うまで、私はずぼらで無頓着な人間で、地域清掃はもとより自宅も職場の

自分の持ち場も散らかっていました。自分本位の生き方がゆえにたくさんの方々には不快な思いをさせていたと思います。

2012年12月「埼玉師範塾」で鍵山相談役のお姿に学び、身の回りの整頓から始め、日常生活のひとつひとつの所作を丁寧に心がけるようになりました。

「見ているものに心は似てくる」という言葉は本場で、身の回りが整ってくると、不思議と心が穏やかになり、うまくいっていなかった仕事が徐々に軌道にのってきました。

2019年1月第16回「便教会」総会に参加の折、鍵山相談役から、掃除とは「気付きの訓練」と教わりました。私は、掃除をすることで気付く力を磨かせても

らっていたのだと気付きました。現在、2016年発足の「東京便教会」の世話人で、鍵山掃除道に学んでいます。勤務校の子どもたちと地域清掃を定期的に行っています。

担任の子どもと保護者の数名でスタートし、徐々に同僚や他学年の児童と保護者、卒業生も参加するようになりました。

掃除の実践を通して、丁寧に暮らし、まず気付く力を磨く。その上で、子供たち・保護者・同僚と「掃除で身の回りを整え、心のすさみをなくしていく」という価値観を共有する。

その延長線上で日本をより良い国にしていきたい。今後も鍵山掃除道に学び続けてまいります。

(2013東京都狛江市元和泉2-19-4-210)

## 環境整備としての掃除に つきまして

東京都

清水<sup>しみず</sup>

精二<sup>せいじ</sup>



私がお掃除に関心を持ったのは21歳、母が病弱なため、大学を卒業したら「おかき」製造の家業を継ぐことになったときです。

継ぐ条件として、父に仕事で禁煙の約束を取りつけました。昔、町工場ではタバコが流行っていて、父が喫煙するのを見ていたか

らです。父は吸わなくなりまして。そしてお店を会社組織にして、父が社長、私が専務となりました。これでお客様の要望が、私を通して工場及び商品に反映できるとなりました。

私どもの基本方針は、「お客様第一主義」「環境整備の徹底」「クレーム処理に誠意を尽くす」です。

行動指針は、感動道です。経営の勉強会、「一倉会」のOB社長の皆様が見学にお見えになったとき、わが社の環境整備が徹底していたことと、お米や醤油の原料から副材料まですべて無農薬無添加であることに対して、「感動」と仰せくださいました。

環境整備は、朝の稼働前チェック20分、工場終了時30分と、きめ細かくおこなっております。

おかげさまで、お客様は北海道から九州までおられます。最近では工場見学を希望されるお客様が多くなり、今秋は稲刈りと工場見学をセットで計画しています。

私は25年前鍵山秀三郎様に出会い、深川掃除に学ぶ会を立ち上げ、世田谷小学校をはじめとして、学校と街頭清掃に邁進してまいりました。

今は朝一番近所の街頭を1時間掃除し、お店を1時間磨き、9時半に開店します。これが毎日の仕事です。朝、街頭掃除のとき、中高校の生徒さんに声をかけて貰うのが励みです。それが継続のもとかもしれません。

(135-0024 東京都江東区清澄3-10-3)

## 掃除に出会い共生を学ぶ

神奈川県

山崎やまざき

貞雄まことお



鍵山相談役に初めてお会いしたのは、1995年の第一回沖繩掃除に学ぶ会でした。私の祖父のような温かい方でした。

1995年神奈川掃除に学ぶ会が発足しました。ある講演会場で、相談役にばったりお会いした

ときに、「掃除は少ししかしていません」と言いました。すると相談役は、「山崎さん、少しずつがいいんですよ」と。スツと力みが抜け、「あ！少しずつでいいんだ、私もやっている」と思えたのです。それは、掃除をもっとやろうと火が付いた瞬間でもありました。

1996年1月、サンパウロでの第一回ブラジル掃除に学ぶ会に鍵山ご夫妻も参加され、現地メデアで大きく取り上げられました。帰国後に送られてきた細かな記録写真を見て、「人の喜ぶことをする！」とは、汗をかき、工夫し、手と足と体を使うことか、と改めて感じました。

2009年仲間と大和掃除に学ぶ会を立ち上げ、駅の街頭清掃を始めました。「どなたでもどう

ぞ」とやっている、米軍厚木基地の方も参加され、そのうち大型バスでおいでになるようになりました。彼らは銃をホウキに持ち替え、私たちと一緒に掃除をしています。司令官が側溝の掃除に無心に向き合う姿を見ると、掃除の素晴らしさを感じます。

軍関係者も「街をきれいにする活動に感銘する」とおっしゃっています。掃除は人と人の心を結び、絆を深め、平和を呼ぶ大切な礎だと思えます。

課題を解決するには、自ら動き、助け合う思いやりが必要です。掃除は、自分中心の考え方から、共に生きる「共生」の考え方を学ぶ人間教育です。

(242-0025 神奈川県大和市代官1-10-3

株ニッコ)

## 木屋町の掃除に学んだこと

京都府

山口 やまぐち

晃平 こうへい



2018年、職場（法律事務所）の副代表に誘われたのがきっかけで、京都新洗組に参加するようになりました。

京都新洗組は、木屋町という市内随一の繁華街を毎週末街頭清掃しています。私は最初のころは一か月に一度くらいの参加でし

た。それは、特に喫煙所がとても汚く、吸い殻やラードがびっしりこびりついていたので、その掃除をためらっていたのです。そんな私に、大先輩の戸田紳司さんが喫煙所の掃除を指導してくださいました。

アスファルトにこびりついたラードは、たわしで徹底的にキレイにします。自分に飛沫が返るのもいとわず取り組むと、その場がきれいになるとともに、心が晴れやかになりました。地に足をつけ、視線を落として初めて見えることでした。これは仕事にも通じることで、見えない部分に視線を落として踏み込むよう心掛けています。

戸田さんからは、掃除のやり方だけでなくチームの協力の仕

方も学びました。「自分が掃除をした場所は、誰も気づかないけど自分だけが知っている喜びがある」との話を聞いて、それは生き方を教えていただいているのだと気づき、感銘を受けました。徐々に「掃除に学ぶ」意味を気付くようになり、今では毎週欠かさず喫煙所を清掃させていただいています。

掃除参加者は、戸田さんはじめ素晴らしい方ばかりで、人として大切なことを学んだり、活力をいただいています。

地道に続けていて、微差の積み重ねが大差になることも学んでいます。まだまだですが、これからも掃除に学んでいきます。

（604）京都府京都市中京区西洞院通夷

川上る毘沙門町398-3 AXIS 202

## 視点を变える〓よく観る

福岡県

山本 章子  
やまもと あやこ



60歳で定年退職後、帆足行敏先生の「博多駅前朝清掃」に参加して20年。掃除をしながら、視点を变えて観ると興味深いことがあります。(写真右2人目)

■トイレ掃除 見える部分と見えない部分、高い天井や照明、壁、サッシ、窓などを丁寧に清掃すると、空気が変わり、爽快感があり、感動します。

これは、トイレを使う方の心の荒みを和らげると思います。

■ゴミ拾い 道路を右から左から、東西南北観察します。植えこみや溝の中、フェンス際にも目をむけます。①タバコの吸殻②弁当、食べ物の容器③空缶、ペットボトル、ダンボール④ここ2年、コロナの影響で道路にマスクが増えたのを感じます。

■公園 花植え、土づくり、苗植え、水やり、草とり、自然との会話を楽しみ、祈りつつ作業をします。上皇様は、「草に雑草はない」とおっしゃいました。名も

知らぬ草も可憐な花を咲かせています。どちらを生かすか迫られます。この選択は、人間社会では優先順位？でしょうか。

公園ではウォーキング、体操など楽しむ人がいます。子どもが安全安心に遊べるよう、心を込めて、ゴミ拾い、草とりをします。

■掃除での気づき お店や経営での、お客様への配慮や同僚との人間関係、リーダーシップなどに活かすことができます。

最近、生きづらさをかかえ40歳、50歳になっても引きこもる人が増え、高齢の親が子どもの面倒をみられなくなるなど、大きな社会問題となっています。掃除を通じて、解決の道はないでしょうか？

(812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 4・8・21 303)

## 「郡山は法人中心の運営です」

福島県

鈴木

和己



1996年から東北各地の大会に参加していました。私の所属するエスビー商会は、イエローハットチェーンですので、「郡山はいつスタートするの」と何度も尋ねられましたが、自信がなく一歩を踏み出せませんでした。

2013年春、郡山に本社をおく掃除に熱心なヨークベニマル様より連絡をいただいたことで、会の立ち上げを決心しました。

持続可能な運営のためには事務局体制が肝要だと考え、法人中心の会としました。幹事会社3社（当社、ヨークベニマル、ライフフーズ）を核に会員を募り、行政の協力も得て、2013年10月「郡山掃除に学ぶ会」を設立。

2014年5月の第1回年次大会は、鍵山相談役に講演を賜り、各地の皆さまの助けを得て開催しました。第3回までに「自前でリーダーの半数、サブリーダーは全員目標」を掲げ、事前研修を行ってリーダーには「認定証」を発行し、モチベーション向上に努めました。会員募集は、業

界の偏りを避けるために、一業種一社を基本にしています。

第1回大会で、相談役が市長に「郡山駅前の体感治安が良くない」とお聞きになり、街頭清掃の早期実施を望まれました。そこで参加者が集まりやすく活動が長続きする環境を、1年かけて整えました。

2015年4月、駅前に多数物件を所有する企業の賛同を得て、会員を5グループに分け、活動を始めました。降雪、凍結のある冬期は除き毎回40〜50名が参加し、コロナ禍でも活動を続け、2022年7月に第50回を迎えました。会員会社は23社から35社に増えました。世代交代があっても持続できる体制をめざします。

(963-0107 福島県郡山市安積1丁目138)